

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

専門研修・・・職能研修

教務主任		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	224	324	424	524	—
		定 員	—					
目 的	教務主任としての資質能力の向上を図るため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対 象	初めて教務主任となった教員							
内 容	[1期] ○人権教育の推進における教務主任の役割 ○学校安全の推進における教務主任の役割 ○教育課程の編成における教務主任の役割 <小学校部会><中学校部会><高等学校部会><特別支援学校部会> ◇□教務主任の職務とその実際 <小学校部会><中学校部会><高等学校部会><特別支援学校部会>						6/17 (金)	
	[2期] ○発達障害のある子どもへの理解と支援 ○◎教務主任のための教育関係法規 ○◎組織的な課題解決に向けた教務主任の取組 【筑波大学大学院 教授 浜田 博文】						7/4 (月)	
過去の 受講者 の 声	・教務主任の役割について理解が深められ、学校改善を考えていくのにとっても参考になった。 ・どの講義も学校ですぐに生かせる内容で、日々の業務に対する認識を改める研修となった。 ・他地域の学校の先生方とグループになっていたのも、県内のいろいろな地域の情報が得られた。							

学年主任		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	225	325	425	525	—
		定 員	—					
目 的	学年主任としての資質能力の向上を図るため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対 象	3学級以上の学年において、初めて学年主任となった教員（1校に2名以上いる場合は、原則1名とする。）							
内 容	○特別な支援を必要とする子どもへの理解と学年主任としての対応 ○◎コミュニケーション能力を高める —保護者との連携強化のために— ○学年主任の職務と役割 <小学校・小学部部会><中学校・中学部部会><高等学校・高等部部会> □よりよい学年運営をめざして <小学校部会><中学校部会><高等学校部会><特別支援学校部会>						6/16 (木)	
	・今後、実践しようと思う内容がたくさんあった。 ・明日からの学年経営に生かせるものばかりだったので、とても充実した時間を過ごすことができた。 ・多くの先生方が同じような悩みをもたれていることが分かり、研究協議で参考になる意見が聞けた。							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

保健主任		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	226	326	426	526	—
		定 員	—					—
目 的	保健主任としての資質能力の向上を図るため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対 象	6学級以上の学校において、初めて保健主任となった教員							
内 容	○保健主任の職務 ○◎学校の危機管理における保健主任としての役割 —組織的対応に向けて— ◇組織的な学校保健活動の取組 □組織的な学校保健活動の取組 —保健主任の役割を中心として—						6/21 (火)	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・保健主任として、校内研修等で伝えていくべきことが明確となり、とても参考になった。 ・保健主任としての具体的な職務や役割について、事例発表等を通してより詳しく理解することができた。 ・「保健主任として、しっかりアンテナを張り、学校保健活動をマネジメントすること」という話を聞き、保健主任としてすべきことが見えてきた。 							

生徒指導主任		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	227	327	427	527	—
		定 員	—					—
目 的	生徒指導の今日的課題についての理解を深め、生徒指導主任としての資質能力の向上を図るため、生徒指導主任の職務について研修する。							
対 象	3学級以上（小学校においては、6学級以上）の学校において、初めて生徒指導主任となった教員							
内 容	○生徒指導の意義と生徒指導主任の職務 ◇生徒指導主任の職務の実際 —学校における組織的対応— <小学校部会><中学校部会><高等学校部会> ○◎組織で取り組む生徒指導 —生徒指導力の向上と指導体制の充実を図るために— 【福岡県立大学 准教授 奥村 賢一】						7/1 (金)	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の取組の中で、感覚的に理解していた生徒指導を概論から再度学ぶことができ、改めて教員の共通認識、同一歩調の大切さを感じた。 ・全教職員の共通理解、協働体制の確立に向け、多くのことを学ぶことができた。 ・予防的・開発的な生徒指導に組織的に取り組んでいくことの重要性を学ぶことができた。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

進路指導主任		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	—	—	428	—	—
		定 員	—	—	—		—	—
目 的	進路指導主任としての資質能力の向上を図るため、職務に関する基礎的事項について研修する。							
対 象	初めて進路指導主任となった教員							
内 容	<input type="radio"/> 組織的な進路指導の充実に向けて —進路指導主任に期待すること— <input type="checkbox"/> 進路実現に向けた進路指導主任の役割 <input type="checkbox"/> これからの時代に求められる進路指導 —キャリア教育の視点を中心に— <input type="checkbox"/> これからの時代に求められる進路指導の進め方 —計画的・系統的な指導の充実に向けて—						5/24 (火)	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアカウンセリングの手法が分かり、大変勉強になった。 ・進路指導やキャリア教育の重要性を再確認することができた。 ・研究協議では、共通の課題等を十分に情報交換することができ、大変よかった。 ・この研修を踏まえて進路主任としての責務を果たしたいと強く思った。 							

園長等		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	129	—	—	—	—	—
		定 員	18	—	—	—	—	—
目 的	園長としての資質能力と識見を高めるため、教育内容と指導方法について研修する。							
対 象	幼稚園園長等							
内 容	<input type="radio"/> ◎幼稚園における危機管理 <input type="radio"/> ○カリキュラム・マネジメントの適切な実施について <input type="radio"/> ◎特別な支援を必要とする幼児への理解と支援 —「合理的配慮」の観点を踏まえて—						7/13 (水)	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・新任の園長としての課題解決への糸口となった。 ・支援を必要とする園児が生活する時の状態を知ることができた。 ・園長としての心得や方向性など熱心に講義をしていただき、有り難かった。 ・危機管理など、園経営においてこれからすぐに取り組むことの重要性が分かった。 ・どの内容も園長として大切・必要なことばかりであったので、研修できてよかった。 							

初めて特別支援学級を担当する教員		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	230	330	—	—	—
		定 員	—			—	—	—
目 的	小学校・中学校における特別支援学級での教育に携わる教員としての資質能力の向上を図るため基礎的事項と実践上の諸課題について研修する。							
対 象	初めて特別支援学級を担当する教員（原則として特別支援学校の勤務経験を有する者を除く。）							
内 容	<input type="radio"/> 特別支援教育の基礎 <input type="checkbox"/> 特別支援学級における指導・支援の実際 —実践上の課題解決に向けて— <小学校部会><中学校部会>						6/1 (水)	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・明日からの実践に役立つ資料をたくさんもらったので、早速活用したい。 ・悩みを共有することができた。様々な方策を学ぶことができた。 ・初めて特別支援学級担任で誰にも相談できない状態だったが、講義や実践発表を聞くことで、心が軽くなった。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

複式学級担任（東部会場）		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	231	—	—	—	—
		定 員	—	15	—	—	—	—
目 的	複式教育に関する専門性を高めるため、複式学級のよさや課題に目を向け、複式授業の工夫・改善や実践上の諸問題について研修する。							
対 象	岩国市、和木町、柳井市、周防大島町、上関町、田布施町、平生町、下松市、光市、周南市の複式学級編成のある小学校に勤務する教員又は当該市町に居住する複式学級編成のある小学校の教員							
内 容	★□学びを深める複式授業づくりの実際 —複式授業の参観を通して— ○◎学びを深める複式授業づくりの工夫 —学習指導案の協同作成を通して— ※会場 岩国市立柱野小学校（岩国市柱野1092-3）						6/30（木） 9:40～16:00	
過去の 受講者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観を通して、主体的な学びを生み出すための学習スタイルが大変参考になった。 ・演習では、1・2年生の複式授業について、相談しながら学習指導案の検討を行うことができ、非常にうれしかった。 ・1日の研修を通して、リーダー学習の進め方、学習の流れの示し方などがよく分かった。 							

複式学級担任（西部会場）		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	232	—	—	—	—
		定 員	—	15	—	—	—	—
目 的	複式教育に関する専門性を高めるため、複式学級のよさや課題に目を向け、複式授業の工夫・改善や実践上の諸問題について研修する。							
対 象	山口市、防府市、宇部市、山陽小野田市、美祢市、下関市、萩市、長門市、阿武町の複式学級編成のある小学校に勤務する教員又は当該市町に居住する複式学級編成のある小学校の教員							
内 容	★□学びを深める複式授業づくりの実際 —複式授業の参観を通して— ○◎学びを深める複式授業づくりの工夫 —学習指導案の協同作成を通して— ※会場 萩市立佐々並小学校（萩市佐々並2499）						6/21（火） 9:40～16:00	
過去の 受講者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観を通して、主体的な学びを生み出すための学習スタイルが大変参考になった。 ・演習では、1・2年生の複式授業について、相談しながら学習指導案の検討を行うことができ、非常にうれしかった。 ・1日の研修を通して、リーダー学習の進め方、学習の流れの示し方などがよく分かった。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

養護教諭実践的指導力向上		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	233	333	433	533	—
		定 員	—	7	4	4	1	—
目 的	養護教諭としての更なる資質の向上や実践的指導力の向上を図り、学校における健康教育を推進する力量を高める。							
対 象	新規採用後 11 年以上経過した養護教諭							
内 容	○◎学校と S S W の連携 — 養護教諭の役割を中心に— ◇養護教諭の健康相談 ○□養護教諭の健康相談 —コーディネーターとしての役割—						10/5 (水)	
過去の 受講者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育を組織的に進めていくためには、まず子どもたちの実態を捉えることが第一歩であるということが分かった。 ・健康教育について、理論立てた内容で、基本に立ち返ることができた。 ・保健指導について、たくさんのアイデアをいただいたので、明日から早速取り組んでみたい。 ・研究協議では、仲間と情報を共有でき、とても有意義な時間になった。 ・事例発表を聞いたり研究協議をしたりする中で、今すぐにもやってみたいと思える内容がたくさんあり、意欲が湧いてきた。 							

× 観察、実験の技能を高める実習助手		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	—	—	434	534	—
		定 員	—	—	—	18	2	—
目 的	実習助手としての専門性を高めるため、観察・実験器具及び薬品の安全な取扱いについて研修する。							
対 象	実習助手（普通教科）							
内 容	○◎顕微鏡の取扱いとメンテナンス —原形質流動の観察を通して— ○◎試薬の調製と管理 —中和滴定の実験を通して— ○◎測定器具の取扱いと準備 —電流回路の実験を通して—						6/24 (金)	
過去の 受講者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・助手として一番気を使う薬品のことについて聞くことができ、とても役に立った。 ・基本を分かりやすく説明してもらい、さらに深く知ることができてとても良かった。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

教育委員会事務局新任職員等		校 種	幼	小	中	高	特	教委等	
		講座番号	—	—	—	—	—	—	635
		定 員	—	—	—	—	—	—	
目 的	教育委員会事務局職員としての自覚と識見を高めるため、教育行政に関する基礎的事項について研修する。								
対 象	平成27年度教育委員会事務局新任職員等研修講座後に、県教育委員会、市町教育委員会の事務局又は学校以外の教育機関に勤務することになった教職出身者（既受講者を除く。）								
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○事務局新任職員に期待する ○山口県の教育改革の動向について ○人権教育の推進と事務局職員としての在り方 ○◎文書事務 ○◎教育関係法規 						4/18（月）		
過去の 受講者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の業務で、これまで分からなかったことについて、具体的に教えてもらうことができた。 ・法規や予算を意識すること、そして人権意識をしっかりとって業務を遂行することの大切さを学べた。 ・講師から、自分の仕事に前向きに取り組めるような言葉をたくさんいただき、本当に有り難いと思った。 								

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

専門研修・・・リーダー養成研修

豊かな心を育む道徳教育推進（リーダー養成）		校 種	幼	小	中	高	特	教委等				
		講座番号	—	236	336	436	536	—				
		定 員	—	7	7	7	3	—				
目 的	道徳教育を推進するリーダーとしての資質能力の向上を図るため、道徳教育の専門的知識と教育実践上の諸問題について研修する。											
対 象	教員											
内 容	<p>○これからの道徳教育 ー多様な方法を取り入れた指導の在り方ー 【広島大学大学院教育学研究科 教授 鈴木 由美子】 <小学校・小学部・中学校・中学部部会> ◎子どもの心に響く道徳教育の実践1 ー学習指導案の作成・検討ー <高等学校・高等部部会> ◎人間としての在り方生き方に関する教育の展開1 ー道徳教育全体計画の作成を通してー</p> <p>◎□子どもの心に響く道徳教育の実践2 ー模擬授業ー <小学校・小学部・中学校・中学部部会> □子どもの心に響く道徳教育の実践3 ー授業改善に向けてー <高等学校・高等部部会> □人間としての在り方生き方に関する教育の展開2 ー道徳教育全体計画の見直しを中心にー</p> <p>○道徳教育推進リーダーとしての役割 <小学校・小学部・中学校・中学部部会><高等学校・高等部部会></p>						8/18（木） 9:40～17:00		8/19（金） 8:45～16:00		<宿泊研修>	
過去の 受講者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・図書を通じた道徳教育の可能性も探りたい。 ・道徳を意識し、様々な活動の中で目標を結び付けて考えることから始めようと思った。 ・教師が日々の授業を大切にし、人としての在り方や生き方を考えさせながら、規範意識を育むことが大切であると再確認した。 ・自校の重点目標の項目を中学校の重点目標と関連付けて吟味したい。 ・学校教育全体、個々の授業を通して、人格形成、規範意識の育成、自己効力感や自己肯定感の醸成などに取り組んでいきたい。 											

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

学力向上に向けた授業改善のためのOJT（リーダー養成）		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	237	337	—	537	—
		定 員	—	11	11	—	2	—
目 的	学力向上に向けた授業改善を自ら中心となって推進するリーダーを養成するため、OJTを通じた授業づくりを進める理論と方法について実践的に研修する。							
対 象	教員							
内 容	[1期] ○☆学力向上に向けた学級づくり・授業づくりの在り方 —学校の実態に合った授業改善につなげるために— 【早稲田大学大学院教職研究科 教授 田中 博之】 ○◎学力向上に向けた授業改善のためのOJTの進め方 【早稲田大学大学院教職研究科 教授 田中 博之】						8/16（火）	
	[2期] □学力向上に向けた授業改善のためのOJTの実践 —成果と課題の共有を通して— 【早稲田大学大学院教職研究科 教授 田中 博之】 ○学力向上に向けた授業改善 —OJTを推進するリーダーに求められること— 【早稲田大学大学院教職研究科 教授 田中 博之】						10/13（木）	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・授業実践について、自分なりに工夫してきたつもりであったが、別の角度から見たときにはまだまだ改善すべき点や工夫すべき点が多くあることに気付くことができた。 ・自分の中で曖昧だったものが明確になり、すぐに学校で実践できそうな内容だった。 ・異校種の先生方と研修できたことが、大変有意義だった。 							

総合的な視点（生徒指導・教育相談・特別支援教育）をもつ児童生徒支援推進（リーダー養成）		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	238	338	438	538	—
		定 員	—	7	7	7	3	—
目 的	生徒指導・教育相談・特別支援教育の全ての視点をあわせもつ、児童生徒支援の中核となるリーダーを養成するため、生徒指導・教育相談・特別支援教育の専門性を高めるとともに、総合的な児童生徒理解及び児童生徒支援の在り方について研修する。							
対 象	教員							
内 容	[1期] ○児童生徒支援を推進するリーダーの役割 ○◎インクルーシブ教育システム構築に向けて 【東京大学先端科学技術研究センター 教授 中邑 賢龍】 ○◎☆異才発掘プロジェクトから見えてくるもの 【東京大学先端科学技術研究センター 教授 中邑 賢龍】 □児童生徒支援における各学校の現状と課題 □課題解決に向けた具体的取組について ○◎心を育てるカウンセリング 【明治大学文学部 教授 諸富 祥彦】 ○◎☆不登校・いじめ・キレる児童生徒への対応 【明治大学文学部 教授 諸富 祥彦】						6/13（月） 9:40～17:00 6/14（火） 8:45～16:00 <宿泊研修>	
	[2期] ◇□各校の取組とその成果 ○◎総合的な児童生徒理解と支援の在り方 【明治大学文学部 教授 諸富 祥彦】						11/9（水）	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・普段聞けないような有名な先生の講義を聞くことができ、有意義であった。 ・とても充実した内容であった。 ・受講者間の交流が多くあったので、異校種間の情報交換をすることができた。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

ICT活用推進（リーダー養成） 〔小・特合同講座〕		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	239	—	—	539	—
		定 員	—	25	—	—	3	—
目 的	学校や地域でICT活用を推進するリーダーとしての指導力の向上を図るため、ICT活用研修を企画・運営する方法について研修する。							
対 象	学校や地域で、ICT活用を推進する教員							
内 容	[1期] ○☆ICTを活用した新たな学びの推進 —今求められる教員のICT活用指導力— 【東京学芸大学教育学部 准教授 高橋 純】 ○◎ICT活用推進リーダーの役割 【東京学芸大学教育学部 准教授 高橋 純】 ◎□ICT活用指導力向上のための研修プログラムを使った研修の進め方						7/22（金）	
	[2期] □ICT活用研修の実際と運営の工夫 【山口大学教育学部 教授 鷹岡 亮】 ○児童の情報活用能力育成の在り方 —ICT活用研修を企画・運営するために— 【山口大学教育学部 教授 鷹岡 亮】 ○◎協働学習におけるICTの活用の工夫 —ICT活用指導力向上のための研修プログラムを通して— ○◎授業における情報モラル教育の進め方 —ICT活用指導力向上のための研修プログラムを通して—						12/8（木）	
過去の 受講者 の 声	平成27年度「授業における効果的なICT活用研修講座」 ・ICTを何も考えずに使うのではなく、何を、どんな目的で、どのように使うのかをきちんと考えた上で活用していきたいと思った。 ・ICT活用の意義や方法を実践例と一緒に見ることができて良かった。自分なりの活用方法を考えることができた。							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

ICT活用推進（リーダー養成） 〔中・特合同講座〕		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	—	340	—	540	—
		定 員	—	—	21	—	2	—
目 的	学校や地域でICT活用を推進するリーダーとしての指導力の向上を図るため、ICT活用研修を企画・運営する方法について研修する。							
対 象	学校や地域で、ICT活用を推進する教員							
内 容	[1期] ○授業におけるICT活用の在り方 — ICT活用研修を企画・運営するために— 【山口大学教育学部 教授 鷹岡 亮】 ○情報モラル教育の在り方 — ICT活用研修を企画・運営するために— ○◎授業におけるICT活用の工夫 — ICT活用指導力向上のための研修プログラムを通して— ◎□ICT活用指導力向上のための研修プログラムを使った研修の進め方						7/12（火）	
	[2期] □ICT活用研修の実際と運営の工夫 【山口大学教育学部 教授 鷹岡 亮】 ○生徒の情報活用能力育成の在り方 — ICT活用研修を企画・運営するために— 【山口大学教育学部 教授 鷹岡 亮】 ○◎協働学習におけるICTの活用の工夫 — ICT活用指導力向上のための研修プログラムを通して—						12/9（金）	
過去の 受講者 の 声	平成27年度「授業における効果的なICT活用研修講座」 ・ICTを活用することによって、子どもの思考を促す一手段にしていくことがよく伝わった。何のために機器を活用していくのかを明確にしながら、授業づくりに役立てていきたい。 ・焦点化と発問によって学びを成立させることの重要性を学ぶことができた。 ・実際にタブレットを使用して学習指導案を作ったことで、自分にもできそうだと安心することができた。							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

ICT活用推進（リーダー養成）		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	—	—	441	—	—
		定 員	—	—	—	12	—	—
目 的	学校や地域でICT活用を推進するリーダーとしての指導力の向上を図るため、ICT活用研修を企画・運営する方法について研修する。							
対 象	学校や地域で、ICT活用を推進する教員							
内 容	[1期] ○授業におけるICT活用の在り方 — ICT活用研修を企画・運営するために— 【山口大学教育学部 教授 鷹岡 亮】 ○情報モラル教育の在り方 — ICT活用研修を企画・運営するために— ○◎授業におけるICT活用の工夫 — ICT活用指導力向上のための研修プログラムを通して— ◎□ICT活用指導力向上のための研修プログラムを使った研修の進め方						6/7（火）	
	[2期] □ICT活用研修の実際と運営の工夫 【山口大学教育学部 教授 鷹岡 亮】 ○生徒の情報活用能力育成の在り方 — ICT活用研修を企画・運営するために— 【山口大学教育学部 教授 鷹岡 亮】 ○◎アクティブ・ラーニングにおけるICT活用の工夫 — ICT活用指導力向上のための研修プログラムを通して—						12/15（木）	
過去の 受講者 の 声	平成27年度「授業における効果的なICT活用研修講座」 ・ICTのための授業ではなく、授業のためのICTであることをもう一度しっかり認識して、生徒のためになる授業づくりを行っていかうと感じた。また、ICT教材に関して、多くの有効な活用法を学べる良い機会になった。 ・これまでの研修で最も役に立った。是非、同様の講座を数多くの先生にも受けていただきたいと思った。							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

専門研修・・・教科研修

テキストに基づいて自分の考えを書く力を高める国語科〔小・中連携講座〕		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	242	342	—	542	—
		定 員	—	60	18	—	2	—
目 的	国語科に関する専門性の向上を図るため、テキストに基づいて自分の考えを書く力を高める指導と評価について研修する。							
対 象	小学校・特別支援学校の教員及び中学校の国語科を担当する教員							
内 容	◇□テキストに基づいて自分の考えを書く力を高める授業の実際 —授業映像の視聴を通して— ＜小学校・小学部部会＞＜中学校・中学部部会＞ ○◎テキストに基づいて自分の考えを書く力を高める指導と評価の在り方 —小・中の学習の系統性を踏まえて— 【広島大学大学院教育学研究科 教授 難波 博孝】						8/29（月）	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・明日からの授業にすぐ生かせる内容で、早速持ち帰り、2学期の準備を進めていきたい。 ・自分一人で考えるより複数で意見交流しながら考えることで、考えが広がったり深まったりすることを体験できた。 ・10年経験者研修が終わると研修の機会が少なくなるため、今回のような教科研修はとて有り難い。 							

伝統的な言語文化への興味・関心を広げる国語科		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	—	—	443	543	—
		定 員	—	—	—	18	2	—
目 的	国語科を担当する教員としての専門性を高めるため、伝統的な言語文化への興味・関心を広げる指導と評価について研修する。							
対 象	国語科を担当する教員							
内 容	○◎伝統的な言語文化への興味・関心を広げる指導と評価の在り方 【高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門 教授 渡邊 春美】 ◇□伝統的な言語文化への興味・関心を広げる授業の実際 —授業映像の視聴を通して— □伝統的な言語文化への興味・関心を広げる授業の工夫						9/30（金）	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・午前中の講義は自分の考えになかった新鮮な内容で、非常に参考になった。 ・事例発表者の具体的な話がとても勉強になった。 ・研究協議で、これから取り組みたいことがいろいろ見つかった。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

有権者として求められる力を育てる社会科・公民科 授業づくり〔中・高連携講座〕		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	—	344	444	544	—
		定 員	—	—	12	18	2	—
目 的	社会科及び公民科を担当する教員としての専門性を高めるため、有権者として求められる力を育てる授業づくりについて研修する。							
対 象	社会科及び公民科を担当する教員							
内 容	○主権者教育における社会科・公民科の役割 ○◎有権者として求められる力を育てる授業の在り方 ー副教材を活用した指導事例を通してー 【岡山大学大学院教育学研究科 教授 桑原 敏典】 ◎□有権者として求められる力を育てる授業づくりの工夫 ー単元指導計画の協同作成を通してー 【岡山大学大学院教育学研究科 教授 桑原 敏典】						8/19 (金)	
過去の 受講者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・演習では、他の先生方と単元計画を協同作成することで、計画の立て方や授業の展開の工夫等、多くのことを学ぶことができ、大変有意義であった。 ・他の先生方が、どのような授業を実践しているかを聞くことができたので、演習・研究協議は参考になるものだった。 							

活用する力を高める算数科授業づくり（東部会場）		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	245	—	—	545	—
		定 員	—	42	—	—	2	—
目 的	算数科に関する専門性の向上を図るため、活用する力を高める授業づくりについて研修する。							
対 象	岩国市、和木町、柳井市、周防大島町、上関町、田布施町、平生町、下松市、光市、周南市にある学校に勤務する教員又は当該市町に居住する教員							
内 容	◇□活用する力を高める授業づくりの実際 ー割合等の倍の概念を活用した授業を中心にー ○活用する力を高める授業づくりの在り方 ー全国学力・学習状況調査の結果を踏まえてー ◎活用する力を高める授業づくりの工夫 ー板書型指導案の協同作成を通してー ※会場 熊毛公民館（周南市熊毛中央町1-1）						8/3 (水) 9:40~16:00	
過去の 受講者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案づくりで、いろいろな先生方の話を聞くことができ、よかった。 ・一つのテーマに絞って同じ学年の教師で考えを深めることができ、大変有意義であった。 ・短い時間の中でグループの先生と協力して一つの授業をつくり上げていくことが、自分にとって貴重な経験となった。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

活用する力を高める算数科授業づくり（西部会場）		校種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	246	—	—	546	—
		定員	—	42	—	—	2	—
目的	算数科に関する専門性の向上を図るため、活用する力を高める授業づくりについて研修する。							
対象	山口市、防府市、宇部市、山陽小野田市、美祢市、下関市、萩市、長門市、阿武町にある学校に勤務する教員又は当該市町に居住する教員							
内容	◇□活用する力を高める授業づくりの実際 ー割合等の倍の概念を活用した授業を中心にー ○活用する力を高める授業づくりの在り方 ー全国学力・学習状況調査の結果を踏まえてー ◎活用する力を高める授業づくりの工夫 ー板書型指導案の協同作成を通してー ※会場 やまぐち総合教育支援センター（山口市秋穂二島 1062）						8/10（水） 9:40～16:00	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案づくりで、いろいろな先生方の話を聞くことができ、よかった。 ・一つのテーマに絞って同じ学年の教師で考えを深めることができ、大変有意義であった。 ・短い時間の中でグループの先生と協力して一つの授業をつくり上げていくことが、自分にとって貴重な経験となった。 							

主体的な学びを促す「課題学習」を進める数学科授業づくり〔中・高連携講座〕		校種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	—	347	447	547	—
		定員	—	—	16	12	2	—
目的	数学科を担当する教員としての専門性を高めるため、主体的な学びを促す「課題学習」を進める授業づくりについて研修する。							
対象	数学科を担当する教員							
内容	◇□主体的な学びを促す「課題学習」を進める授業づくりの実際 ー授業映像の視聴を通してー ◎□主体的な学びを促す「課題学習」を進める授業づくりの工夫 ー学習指導案の作成を通してー						9/29（木）	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、身近なところに数学の要素がたくさん見られることを、生徒に感じてもらえるような授業づくりを行いたいと思った。 ・異校種の先生方と話し合いながら学習指導案を作成することは、とても新鮮であった。 ・中高数学の系統一覧の存在を知り、これからはそれぞれの学習内容のつながりを意識して授業を進めたいと思った。 							

発想や構想の能力を育てる美術科、芸術科（美術）〔中・高連携講座〕		校種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	—	348	448	548	—
		定員	—	—	8	3	2	—
目的	美術科及び芸術科（美術）を担当する教員としての専門性を高めるため、発想や構想の能力を育てる指導と評価について研修する。							
対象	美術科及び芸術科（美術）を担当する教員							
内容	○◎発想や構想の能力を育てる指導と評価の在り方 ー創造活動を通してー ◇□発想や構想の能力を育てる指導と評価の実際 ー表現と鑑賞の相互の関連を踏まえてー						9/13（火）	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞について学んだり、意見交換したりすることができてよかった。 ・実践的で役立つ講座であった。多くのアイデアを頂いたので、すぐにでも実践したい。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育む体育科授業づくり		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	249	—	—	549	—
		定 員	—	23	—	—	2	—
目 的	体育科に関する専門性を高めるため、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育む授業づくりについて研修する。							
対 象	教員							
内 容	★□生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育む体育科授業づくりの実際 ○生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育む体育科授業づくり —「ゲーム・ボール運動」領域において— ◎生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育む体育科授業づくりの工夫 —単元指導計画の協同作成を通して— ※会場 山口市立大内小学校（山口市大内矢田北1-16-1）						10/3（月） 9:40～16:00	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に体を動かしながら具体的なポイントを教えてもらったので、分かりやすかった。 ・短い時間の中で、多くの内容を研修できたので大変有意義であった。 ・模擬授業の検討という形式は参考になった。 ・改めて基本的なことを学べた。 							

日常生活で活用する力を育てる家庭科授業づくり		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	250	—	—	550	—
		定 員	—	10	—	—	2	—
目 的	家庭科に関する専門性を高めるため、日常生活で活用する力を育てる授業づくりについて研修する。							
対 象	教員							
内 容	○日常生活で活用する力を育てる授業の在り方 —小学校学習指導要領実施状況調査の結果を踏まえて— ○◎日常生活で活用する力を育てる授業づくりの工夫 —ICT機器の活用を通して— ◎□日常生活で活用する力を育てる授業づくり —題材計画の協同作成を通して—						8/2（火）	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するための教材・教具の工夫が大切だと分かった。 ・授業に使えるアイデアがたくさん聞けて大変勉強になった。 ・児童の興味や意欲を高める授業の仕組みや導入など、大変参考になった。 ・児童が意欲をもって活動する家庭科の授業をめざしたい。 							

技術を適切に管理できる能力を育てる技術・家庭科（技術分野）授業づくり		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	—	351	—	551	—
		定 員	—	—	9	—	1	—
目 的	技術・家庭科（技術分野）に関する指導力の向上を図るため、技術を適切に管理できる能力を育てる授業づくりの基礎について研修する。							
対 象	技術・家庭科（技術分野）を担当する教員							
内 容	○◎技術を適切に管理できる能力を育てる授業づくりの基礎 —材料の特徴を生かした簡単なものづくりを通して— ◎□技術を適切に管理できる能力を育てる授業づくりの工夫 —言語活動を重視した題材計画の協同作成を通して—						6/29（水）	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・何を大切に授業づくりをすべきかについて、改めて深く考える機会になった。 ・基本的な事項から考えることができ、素朴な疑問が解消できた。 ・教材を選ぶ際は生徒にとって効果的に効率よく学習内容を伝えることができるものを選択していきたい。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

協同学習を通して4技能によるコミュニケーション能力を育成する外国語科（英語）授業づくり〔中・高合同講座〕		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	—	352	452	552	—
		定 員	—	—	16	12	2	—
目 的	外国語科（英語）を担当する教員としての専門性を高めるため、協同学習を通して4技能によるコミュニケーション能力を育成する授業づくりについて研修する。							
対 象	外国語科（英語）を担当する教員							
内 容	○◎協同学習を通して4技能によるコミュニケーション能力を育成する授業の在り方 【山口県立大学国際推進室 室長（兼）教授 シャルコフ ロバート】 ◎□協同学習を通して4技能によるコミュニケーション能力を育成する授業づくりの工夫 —単元指導計画の検討を通して— <中学校・中学部部会><高等学校・高等部部会>						6/24（金）	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が中心となって活動できる具体例をたくさん学ぶことができた。 異校種又は経験年数の違う先生方と話すことができてよかった。 協同作成した学習指導案を自分流にアレンジして早速実践してみたいと思った。 							

活用する力を高める理科授業づくり		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	253	—	—	553	—
		定 員	—	19	—	—	1	—
目 的	理科に関する実践的な指導力の向上を図るため、実際の自然や日常生活などの場面において、学習で身に付けた知識・技能を活用する力を高める授業づくりについて研修する。							
対 象	教員							
内 容	○◎活用する力を高める授業づくりの実際 —全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた観察、実験の実習を通して— ○活用する力を高める授業づくりの在り方 ◎□活用する力を高める授業づくりの工夫 —模擬授業の検討を通して—						8/5（金）	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> 教師が一方的に課題を提示し、それを解決する実験を行わせるのではなく、子どもたちの疑問から課題を設定し、その解決方法を構想させていくような授業づくりの大切さを学んだ。 活用する力を育成するには、既存の知識・経験を想起させる場の設定や思考を活性化させる発問の仕方を工夫することが重要だと感じた。 調査問題で意図されている「活用」の四つの視点を、どのように授業に位置付けていくのか、実習や研究協議を通して捉えることができた。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

問題解決の能力を育てる理科Ⅰ（生命・地球） 観察、実験		校種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	254	—	—	554	—
		定員	—	19	—	—	1	—
目的	理科に関する専門性を高めるため、観察、実験の指導方法と問題解決の能力を育てる授業づくりについて研修する。							
対象	教員							
内容	○◎植物の養分と水の通り道に関する観察、実験の工夫 ○◎天気の様子、天気の変化に関する観察、実験の工夫 ○◎問題解決の能力を育てる観察、実験の工夫 —「予想・仮説の設定」「検証計画の立案」場面とのつながりに着目して—						7/21（木）	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・安く簡単に作ることができる教材が印象に残り、是非活用したいと思う。 ・器具を作ったり、ICTを使ったりと、工夫する方法が分かれば、難しいと感じていた単元も指導しやすくなると分かった。 ・実際に観察したり、操作して確かめたりすることは、とても大事だと改めて感じた。 							

問題解決の能力を育てる理科Ⅱ（物質・エネルギー） 観察、実験		校種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	255	—	—	555	—
		定員	—	19	—	—	1	—
目的	理科に関する専門性を高めるため、観察、実験の指導方法と問題解決の能力を育てる授業づくりについて研修する。							
対象	教員							
内容	○◎磁石の性質に関する観察、実験の工夫 ○◎物の溶け方に関する観察、実験の工夫 ○◎問題解決の能力を育てる観察、実験の工夫 —「結果の整理」「考察」場面とのつながりに着目して—						8/23（火）	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に「学ばせる」を児童の「学びたい」に転化していくための手掛かりを学ぶことができた。 ・目に見えないものを見せていく工夫や感じさせる工夫を考え、実験を仕組んでいかなければ、児童にとって楽しい理科にならないと痛感した。 ・ICTの活用について、具体的なアイデアをたくさんもらったので、2学期からタブレット型情報端末をもっと活用したい。 							

科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる理科 （第1分野）観察、実験		校種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	—	356	—	556	—
		定員	—	—	19	—	1	—
目的	理科を担当する教員としての専門性を高めるため、観察、実験を通して、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる指導と評価について研修する。							
対象	理科を担当する教員							
内容	○◎「溶解度と再結晶」に関する観察、実験の指導と評価の工夫 —全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて— ◇□科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる授業づくりの実際 —模擬授業の検討を通して— ○◎「力と圧力」に関する観察、実験の指導と評価の工夫 —全国学力・学習状況調査に見られる課題を踏まえて—						10/4（火）	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に実験をしてみて、改めて生徒の視点で教材を考えたり、工夫をしたりすることの大切さを実感した。 ・模擬授業を受けることで自分の授業改善に大いにつながると感じた。 ・授業にすぐに使えるような新しいアイデアをたくさん教えてもらうことができた。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

科学的な見方や考え方を養う理科（第2分野・生物） 授業づくり〔中・高連携講座〕		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	—	357	457	557	—
		定 員	—	—	10	10	2	—
目 的	理科を担当する教員としての専門性を高めるため、主体的・協働的な学びを通して、科学的な見方や考え方を養う授業づくりについて研修する。							
対 象	理科を担当する教員							
内 容	〔1期〕 ○○科学的な見方や考え方を養う指導と評価の在り方 ○○アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の実際 —バランスドアクアリウムを題材として— 【山口大学国際総合学部 准教授 杉井 学】 ○○科学的な見方や考え方を養う授業づくりの工夫						6/30（木）	
	〔2期〕 ○○科学的な見方や考え方を養う授業づくりの実際Ⅰ —学習指導案の検討を通して— ○○科学的な見方や考え方を養う授業づくりの実際Ⅱ —模擬授業の検討を通して—						9/20（火）	
過去の 受講者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・3期も、あれば是非参加したいほどであった。今後も他の分野での開講があれば、意欲的に参加したい。 ・模擬授業の機会を得ることができ、よい経験を積むことができた。 ・授業について、深く考えるととてもよい機会となった。 							

科学的に探究する能力と態度を育てる理科（地学）		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	—	—	458	558	—
		定 員	—	—	—	14	1	—
目 的	理科を担当する教員としての専門性を高めるため、科学的に探究する能力と態度を育てる指導と評価について研修する。							
対 象	理科を担当する教員							
内 容	○○電波天文学の最先端と、科学的に探究する能力と態度 —仁保のパラボラアンテナから深宇宙の謎にせまる— 【山口大学時間学研究所 教授 藤澤 健太】 ○○科学的に探究する能力と態度を育てる観察、実験の工夫 □自ら課題を発見し、解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習方法の充実に向けて ※会場 山口大学理学部附属宇宙電波観測センター (山口市仁保中郷 123 KDDI 山口衛星通信センター内)						10/27（木） 9:40～16:00	
過去の 受講者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の実習もよく、大学で学べたのが非常に良かった。また大学での研修を受けたい。 ・専門的な研究の先端の内容について学ぶことができ刺激になった。また、講師の研究に対する情熱や、学生を指導するときの心構え等に関して心に響く言葉が多くあった。 ・アクティブ・ラーニングをどこで行うか、行うならどのように展開していくか参考になった。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

専門研修・・・教育相談研修

人間関係に視点を当てた学級づくり入門 (東部会場)		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	259	359	459	559	—
		定 員	—	8	6	4	2	—
目 的	A F P Yの5つの視点を活用し、よりよい学級づくりについて、教科指導や特別活動を通じて実践的に研修する。							
対 象	岩国市、和木町、柳井市、周防大島町、上関町、田布施町、平生町、光市、下松市、周南市、山口市、防府市にある学校に勤務する教員又は当該市町に居住する教員 ※下関市立の学校（小・中）に勤務する者を除く。							
内 容	○人間関係に視点を当てた学級づくりのポイント ★授業参観 □人間関係に視点を当てた学級づくり ※会場 山口県立高森みどり中学校（岩国市玖珂町 1253）						10/26（水） 9:40～16:00	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・異校種で協議ができて良かった。 ・A F P Yの5つの視点を参考にして授業を組み立てることの大切さを学んだ。 ・実際に授業を参観して、学級づくりへのヒントを学んだ。これからの業務に役立てたい。 							

人間関係に視点を当てた学級づくり入門 (西部会場)		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	260	360	460	560	—
		定 員	—	8	6	4	2	—
目 的	A F P Yの5つの視点を活用し、よりよい学級づくりについて、教科指導や特別活動を通じて実践的に研修する。							
対 象	萩市、長門市、阿武町、宇部市、山陽小野田市、美祢市、下関市にある学校に勤務する教員又は当該市町に居住する教員 ※下関市立の学校（小・中）に勤務する者を除く。							
内 容	○人間関係に視点を当てた学級づくりのポイント ★授業参観 □人間関係に視点を当てた学級づくり ※会場 山陽小野田市立小野田中学校（山陽小野田市大字丸河内 1018-2）						11/2（水） 9:40～16:00	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・異校種で協議ができて良かった。 ・A F P Yの5つの視点を参考にして授業を組み立てることの大切さを学んだ。 ・実際に授業を参観して、学級づくりへのヒントを学んだ。これからの業務に役立てたい。 							

不登校児童生徒の理解と対応		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	261	361	461	561	—
		定 員	—	18	14	10	4	—
目 的	児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、不登校児童生徒及びその保護者への迅速かつ適切な対応の在り方について実践的に研修する。							
対 象	教員、10年経験者選択研修（養）と合同開催 ※下関市立の学校（小・中）に勤務する者を除く。							
内 容	○不登校の現状と課題 ○◎特別な支援を必要とする子どもの理解 ○不登校児童生徒へのアプローチ 【山口大学教育学部 教授 大石 英史】 □不登校への対応実践						7/28（木）	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の現状、発達障害を含めた子どもの特性について理解を深めることができた。 ・不登校児童生徒の内面を理解し、早期に校内全体で支援する体制整備が不可欠であると学んだ。 ・具体的な不登校児童生徒への対応を聞くことができ、大変有意義であった。 ・各校の取組を知る機会となり、参考になった。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

教育相談専門		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	262	362	462	562	—
		定 員	—	12	10	5	3	—
目 的	学校教育相談の中心的役割を担う教員としての資質能力の向上を図るため、学校教育相談に関する理論及び技術について専門的に研修する。							
対 象	教員（教育相談担当教員、生徒指導担当教員、特別支援コーディネーター等） ※下関市立の学校（小・中）に勤務する者を除く。							
内 容	○◎教育相談の理論と実践 ○◎特別な支援を必要とする子どもの理解 ○◎☆不登校・いじめ・キレる児童生徒への対応 【明治大学文学部 教授 諸富 祥彦】						6/14（火）	
過去の 受講者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談のスキルを学ぶことができた。 ・特別な支援を必要とする子どもへの支援、また理解の仕方について教えてもらったことが勉強になった。 ・実践的なものが多く、とても有意義だった。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

専門研修・・・特別支援教育研修

通常の学級における子どもの特性に配慮した授業づくり		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	163	263	363	463	—	—
		定 員	2	8	7	3	—	—
目 的	特別支援教育の推進と充実を図るため、発達障害等のある子どもへの支援と授業づくりについて実践的に研修する。							
対 象	教員 ※下関市立の幼稚園及び学校（小・中）に勤務する者を除く。 2期は10年経験者選択研修（幼・養）と合同開催							
内 容	[1期] ★◇子どもの特性に配慮した授業づくりの実際 授業参観Ⅰ・Ⅱ ○子どもの特性に配慮した授業づくり 【山口大学教育学部 教授 松岡 勝彦】 ※会場 山口県立西京高等学校（山口市黒川 2580-1）						6/21（火） 9:40～16:00	
	[2期] ★□子どもの特性に配慮した授業づくりの実際 授業参観Ⅰ・Ⅱ ◇□子どもの特性に配慮した授業づくりの工夫 ※会場 山口県立西京高等学校（山口市黒川2580-1）						10/28（金） 9:40～16:00	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・講義では、配慮の必要な子どもとよりよく関わるコツを心理学も交えて教えていただき、とても参考になった。 ・特性に配慮した視点を中心とした授業を見る機会はないのでとても勉強になった。 ・1期2期を通して生徒の変容を知ることができ、そのための取組について知ることができたので、よい研修となった。 							

発達障害のある幼児児童生徒の教育		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	164	264	364	464	564	—
		定 員	4	35	14	5	6	—
目 的	特別支援教育の推進と充実を図るため、発達障害等のある幼児児童生徒への理解と支援について専門的に研修する。							
対 象	教職員 10年経験者選択研修（幼・養）と合同開催 ※下関市立の幼稚園及び学校（小・中）に勤務する者を除く。							
内 容	○◎発達障害のある幼児児童生徒の理解 □発達障害のある幼児児童生徒の支援・指導の実際 ○◎☆発達障害のある幼児児童生徒の教育 【プール学院大学教育学部 准教授 松久 眞実】						8/25（木）	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にどのように支援していけばよいのか、ヒントになるものが多く、学ぶことが多かった。 ・講義の内容が、実践してみようと強く思える内容だった。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

実践から学ぶ特別支援学級の授業づくり		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	165	265	365	—	565	—
		定 員	2	21	13	—	4	—
目 的	特別支援教育に携わる教職員としての資質能力の向上を図るため、特別支援学級に在籍する子どもへの教育について実践的・専門的に研修する。							
対 象	教職員 10年経験者選択研修（幼・養）と合同開催							
内 容	★◇ 特別支援学校における授業づくりの実際 ◇障害のある子どもへの指導の実際Ⅰ —特別支援学級における授業の工夫— □障害のある子どもへの指導の実際Ⅱ —障害特性に配慮した授業の工夫— <知的障害部会><自閉症部会><肢体不自由部会> ※会場 山口県立山口総合支援学校（山口市朝田 585-1）						10/7（金） 9:40～16:00	
過去の 受講者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部、中学部、高等部で一貫した指導、構造化された教室、教材が素晴らしかった。 ・研究協議では、実態を見据えて難しい課題の解決策を導いていくことの大切さを学んだ。 ・合理的配慮について改めて整理することができた。学びを保障する環境をデザインすることが大切だということが印象に残った。 							

専門性を高める特別支援学校等教職員		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	166	266	366	—	566	—
		定 員	2	4	3	—	44	—
目 的	特別支援学校での教育に携わる教職員としての専門性の向上を図るため、障害特性に応じた指導・支援について専門的に研修する。							
対 象	特別支援学校又は特別支援学級経験年数3年以上の教員、実習助手及び寄宿舍指導員							
内 容	○☆インクルーシブ教育システム時代の特別支援教育について 【福岡大学人文学部 教授 徳永 豊】 ○◎◇□障害特性に応じた指導・支援の実際と授業づくり 【秋穂幸楽園 理学療法士 山川 宏昭】 <知的障害部会><自閉症部会><肢体不自由・重度重複部会>						8/3（水）	
過去の 受講者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルも大切だが、まずはどの子にも「できた、またやりたい！」という意欲を持たせることが大事だと改めて感じた。 ・スケジュールが本人の楽しみを見通すものになるように工夫していきたい。 ・児童の実態に合わせた具体的な支援方法をお聞きした上に、実際に体感させていただき、とても参考になった。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

専門研修・・・課題別研修

基礎から学ぶ外国語活動		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	267	—	—	567	—
		定 員	—	19	—	—	1	—
目 的	外国語活動に関する専門性を高めるため、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る授業の基礎について研修する。							
対 象	教員 ※下関市立の学校に勤務する者を除く。							
内 容	○グローバル化に対応した英語教育の在り方 ○◎積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する授業の在り方 —小中連携の視点から— ◎□積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する授業の基礎 —ALTとのコミュニケーション演習を通して—						7/27 (水)	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・体験を重視した講義・演習で、実践的な活動がたくさんあり、とても参考になった。 ・早く学校に帰って学んだことを授業で実践したい。 ・まずは教師が外国語に慣れることが大切だと思った。 							

「つなぐ！」キャリア教育推進		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	268	368	468	568	—
		定 員	—	10	10	7	3	—
目 的	キャリア教育の実践者としての資質能力の向上を図るため、キャリア教育の取組の在り方について研修する。							
対 象	教員							
内 容	[1期] ○☆これからのキャリア教育の在り方 —キャリア教育の底力— 【筑波大学人間系 教授 藤田 晃之】 <小学校・中学校・小学部・中学部部会> ○◎教育活動全体を通じた組織的なキャリア教育の推進 —コミュニティ・スクールの機能を生かした指導計画の作成— 【山口大学教育学部 教授 池田 廣司】 <高等学校・高等部部会> ○◎教育活動全体を通じた組織的なキャリア教育の推進 —地域資源を生かした指導計画の作成—						7/1 (金)	
	[2期] □学校・家庭・地域をつなぐキャリア教育の実践 ○学校・家庭・地域をつなぐキャリア教育の推進 【山口大学教育学部 教授 池田 廣司】						11/16 (水)	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の視点をもって、自分の教育活動を振り返ることが必要だと感じた。 ・演習を通していろいろな側面を知ることができた。これからの実践に生かせそうだと思った。 ・他校種のキャリア教育における現状や課題が分かり、大変勉強になった。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

学力向上に向けた授業づくり（アクティブ・ラーニング入門）		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	269	369	469	569	—
		定 員	—	10	10	27	3	—
目 的	これからの時代を生きる児童生徒に必要なとされる学力を培うために、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習法であるアクティブ・ラーニングについて研修する。							
対 象	教員							
内 容	○☆学力向上に向けた授業づくり —アクティブ・ラーニングによる授業改革— 【産業能率大学経営学部 教授 小林 昭文】 ○◎主体的な学びを引き出す授業づくり —アクティブ・ラーニング型授業の体験を通して— 【産業能率大学経営学部 教授 小林 昭文】						8/25（木）	

持続可能な社会をめざす環境教育		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	270	370	470	570	—
		定 員	—	8	8	8	3	—
目 的	環境教育を実践するための資質能力の向上を図るため、地域資源を活用し、大地と人間との関わりを通じた環境教育の進め方について研修する。							
対 象	教員							
内 容	○◎地域資源を活用した環境教育 —大地と人間との関わりを通して— 【秋吉台科学博物館 専門員】 □持続可能な社会をめざす環境教育の進め方 —各学校の取組を基にして— ※会場 美祢市立秋吉台科学博物館（美祢市秋芳町秋吉 1237-938）						8/2（火） 9:40～16:00	
過去の 受講者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークを通して、生徒がいかに能動的に学習するかのヒントを得ることができた。 ・身近にいる生物を採取、観察、記録を取ることで、生物環境の変化やつながりが見えてくることを学んだ。 ・身近な自然を足元から見直すと、一つひとつ違いがあり、面白いということに改めて気付かされた。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

専門研修・・・組織力向上研修

学校組織マネジメント		校種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	171	271	371	471	571	—
		定員	2	10	8	8	2	—
目的	学校の組織力向上をめざし、教職員の資質能力の向上を図るため、学校組織マネジメントに関する専門的事項について研修する。							
対象	新規採用後10年以上経過した教職員							
内容	○学校の組織力向上に向けた人材育成 ◇組織的な学校運営の取組 ○◎学校組織マネジメント —「チーム学校」の実現に向けて— 【兵庫教育大学大学院学校教育研究科 教授 浅野 良一】						11/25 (金)	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の動向、実践例、大学教授の理論と、一連の流れが意識された研修であった。 ・ 本日の研修内容が、学校改善の参考になると確信した。 ・ 場を与え、任せて待つということの必要性を改めて実感した。 ・ 多忙な毎日に教師として本当にしなければならないことがおろそかになっていることを痛感した。 							

学校におけるリスクマネジメント		校種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	172	272	372	472	572	—
		定員	4	12	5	5	4	—
目的	安心・安全な学校づくりをめざして、近年多様化しつつある学校における危機を想定し、組織的なリスクマネジメントについて研修する。							
対象	教職員 ※下関市立の幼稚園及び学校（小・中）に勤務する者を除く。 10年経験者選択研修（幼・養）と合同開催							
内容	○◎学校におけるリスクマネジメント —事例分析を通して組織的な対応を学ぶ— ○危機発生時の心のケア ○◎学校における災害への対応 —避難訓練の工夫・改善を中心に—						8/10 (水)	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃から異変を敏感に察知することの必要性を改めて感じた。 ・ 事例発表を通して、危機対応を検証し、次に生かすことの重要性を学んだ。 ・ 臨床心理士の立場から話を聞くことができ、大変勉強になった。 ・ 実践に生かせる内容で、大変勉強になる講座だった。 							

学校におけるコーチング		校種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	273	373	473	573	—
		定員	—	15	13	10	2	—
目的	人材育成の推進役となる教職員の資質能力の向上を図るため、コーチングについて研修する。							
対象	新規採用後10年以上経過した教職員							
内容	○◎コーチング —教職員の人材育成に向けて—						11/17 (木)	
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手のもっている能力を引き出すコーチングの大切さを学ぶことができた。 ・ コーチングスキルとして、質問やペーシング等、具体的なスキルを学ぶことができた。 ・ 演習があり、体験的に学べる講座内容でよかった。 ・ 各校種の先生と様々な話ができて、刺激となり、視野が広がった。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

校内研修の活性化を図る		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	274	374	474	574	—
		定 員	—	24	12	7	2	—
目 的	研修主任及び校内研修を推進する教員としての資質能力の向上を図るため、授業改善に向けて校内研修を活性化させる方策について研修する。							
対 象	研修主任及び校内研修を推進する教員							
内 容	○☆学力向上に向けた学級づくり・授業づくりの在り方 —学校の実態に合った授業改善につなげるために— 【早稲田大学大学院教職研究科 教授 田中 博之】 ◇校内研修の活性化に向けた取組の実際 —日常的な授業改善を促す取組を中心に— □校内研修の活性化に向けた取組の工夫 —各学校における授業改善の取組の交流を通して—						8/16 (火)	
過去の 受講者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて研修主任となり、どうしてよいか分からない状態だったが、何を意識すればよいかの視点が得られてよかった。 ・小中学校の様々な校内研修の取組を知り、本校で実施可能な方法や内容についてイメージを膨らませることができた。 ・研修主任としての考え方や在り方について、大変勉強になった。 							

いじめの問題への対応		校 種	幼	小	中	高	特	教委等
		講座番号	—	275	375	475	575	—
		定 員	—	7	7	7	3	—
目 的	児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応に関する取組について専門的に研修する。							
対 象	新規採用後7年以上経過した教員							
内 容	○関係機関と連携しいじめへの対応 ○ネットいじめへの対応 ○◎いじめへの対応と未然防止 【宇部フロンティア大学 教授 高田 晃】						8/10 (水)	
過去の 受講者 の 声	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題に関して組織的な取組の重要性を再確認できた。 ・いじめの早期発見、未然防止が大切であることがよく分かった。 ・学校の取組を見直し、一人ひとりの子どもを大切にすることをきちんと進めていきたい。 							

○：講義 ◎：実習・演習 ★：授業参観 ◇：発表 □：研究協議 ☆：開放講義

専門研修・・・社会教育研修

社会教育主事等		校 種	幼	小	中	高	特	教委等	
		講座番号	—	—	—	—	—	—	676
		定 員	—	—	—	—	—	—	40
目 的	生涯学習の推進者としての資質能力の向上を図るため、社会教育の当面する課題とその解決に向けた手法について研修する。								
対 象	社会教育主事及び市町の社会教育・生涯学習担当者								
内 容	○◎AFPYを生かした人間関係づくりにおける効果的な指導の工夫 ○山口県の社会教育行政の動向について □これからの社会教育を考える —地域社会における人づくり・絆づくり・地域づくり—						5/27 (金)		
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・AFPYでは、新しいプログラムを多く経験することができ、とても有意義だった。 ・国の動向や県の方向性を確認することができた。 ・研究協議の中で、他の市町の実践を聴いて、今後の業務の参考になった。 								

社会教育指導者のための人権教育		校 種	幼	小	中	高	特	教委等	
		講座番号	—	—	—	—	—	—	677
		定 員	—	—	—	—	—	—	40
目 的	地域や職場等の人権意識の高揚と充実をめざし、社会教育指導者としての資質能力の向上を図るため、人権教育の考え方や進め方について研修する。								
対 象	社会教育関係団体、企業、行政機関等で人権教育を担当している者								
内 容	○◎ネット社会における人権問題 —最新の事例から実態や対応を学ぶ— ○社会教育における人権教育の推進について ◎人権教育の効果的な進め方 —ビデオフォーラムを中心に—						7/7 (木)		
過去の受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルの講義は、具体的な課題が分かりやすく語られ、とても参考になった。 ・SSWの職務が分かった。エコマップの活用を是非やってみたい。 ・ビデオフォーラムの進め方を学ぶことができてよかった。人権学習セミナーを行う際に生かしていきたい。 ・演習教材として紹介されたDVDがとてもよかった。 								